



パプリカ栽培工程



栽培施設の見どころ

コージェネレーションから熱(温水)を供給

スタンション
コージェネレーションと繋ぎ、温水(約90℃)をベジ・ドリーム栗原へ供給

コージェネレーション

蓄熱タンク 670 t × 2 基

月～金曜日の24時間コージェネレーションからの温水を一旦お湯として蓄熱。第3農場は必要な量のお湯を(主に夜間の)暖房で使用することが可能でエネルギーコスト削減と環境負荷低減に有効なシステム。

第3農場

養液のリサイクルシステム

廃液を殺菌し、繰返し使用

ダブルフィルムの屋根

1重フィルムに比べ、約25～30%の省エネ効果

雨水タンク 約1000 t × 2 基

屋根に降った雨を貯水し、栽培に利用



壁のカーテン 日本初

温室内4方向を保温カーテンで覆い、横方向への放熱を防止し、保温効果をも高める



2重フィルムの床

土壌からの隔離と、地下方向への放熱を防止



2重スクリーン

保温スクリーンを2重張りにし、暖房体積の減少と上への放熱抑制



多層のポリカーボネートの壁

フィルムに比べ、①保温効果が高い、②5年毎の張替えが不要



断面構造

